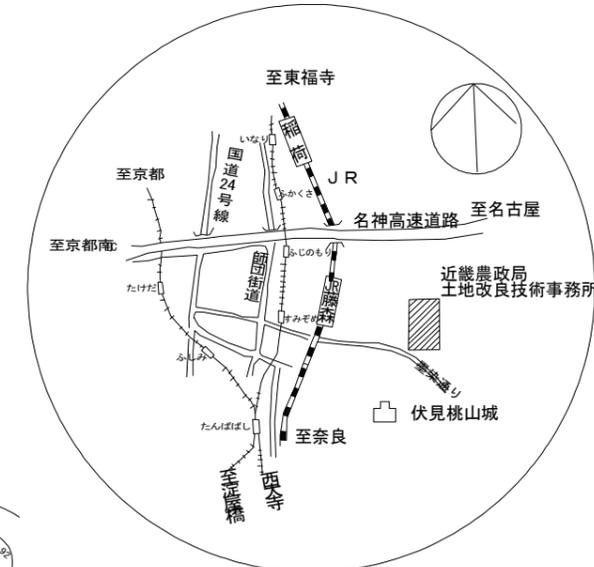


位置図及び平面図



付近見取図

配置図 1:300

工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ホップ材庫建設工事		
図面名	位置図及び平面図		
年月日			
尺度	A1=1/300 A3=1/600	図面番号	00
会社名			
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所		

<p>令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事 工事設計図</p>	<p>11 建築工事仕様 1. 標準仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年度版）」（以下「標準仕様書」という。）による。</p> <p>2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。</p> <p>3. 特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) ⊕ 印は「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（平成31年2月閣議決定）に定める判断の基準を満たす物品を示す。</p>	<p>10 技能士 (1.5.2)</p>	<p>④ 地業工事</p> <table border="1"> <tr> <th>適用工事種類</th> <th>技能検定作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・構造物鉄骨作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック</td> <td>・コンクリートブロック工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ALCパネル</td> <td>・エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>・押出成形セメント板工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート一工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・内外装板金作業 ・スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・鋼製土工事作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・溶融べントハンドマーカ－工事作業 ・加熱べントマシンマーカ－工事作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </table>	適用工事種類	技能検定作業	仮設工事	・とび作業	鉄筋工事	・鉄筋組立て作業	コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	・構造物鉄骨作業	コンクリートブロック	・コンクリートブロック工事作業	・ALCパネル	・エーエルシーパネル工事作業	・押出成形セメント板工事		防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート一工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	石工事	・石張り作業	タイル工事	・タイル張り作業	木工事	・大工工事作業	屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業	金属工事	・鋼製土工事作業 ・内外装板金作業	左官工事	・左官作業	建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	・建築塗装作業	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業	排水工事	・建築配管作業	舗装工事	・溶融べントハンドマーカ－工事作業 ・加熱べントマシンマーカ－工事作業	舗装工事	・造園工事作業	<p>① 支持地盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭基礎 (4.2.1) (4.3.4) (4.3.5) (4.5.5) (4.5.6) 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ・図示による（ ） ○直接基礎 (4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ○図示による（ ） 試験掘り（根切り底の状態の確認等） (3.2.1) ・行わない ○行う 位置等（資材庫基礎部根切り底の状態の確認）・図示による（ ） ・杭の載荷試験 (4.2.3) 試験の位置、方法等 ・図示による（ ） ・地盤の載荷試験 (4.2.4) 試験の位置、方法等 ・図示による（ ） 2 既製コンクリート杭地業 (4.3.3) 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外設鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） (4.2.2) (4.3.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>コンクリート強度 (N/mm²)</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セツト数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 (4.3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・セメントミルク工法 (4.2.2) (4.3.1) (4.3.4) 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（ ） 掘削深さ ・図示による（ ） 杭の支持層への掘入れ深さ ・図示による（ ） 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内 ・特定埋込杭工法 (4.2.2) (4.3.1) (4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α = ()、β = ()、γ = () 工法 ・フレポリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周固定液 ・使用する ・使用しない 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（ ） 杭の支持層への掘入れ深さ ・図示による（ ） 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の内容による 杭の傾斜 ※評定等の内容による 杭継手工法 (4.3.3) (4.3.6) (7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 杭頭の処理 (4.3.8) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断に伴う補強方法含む） ・図示による（ ） <table border="1"> <tr> <td>工事名</td> <td>令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事</td> </tr> <tr> <td>図面名</td> <td>新設資材庫 建築工事特記仕様書（その1）</td> </tr> <tr> <td>年月日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>尺度</td> <td>- 図面番号 A-01</td> </tr> <tr> <td>会社名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業(務)所名</td> <td>近畿農政局 土地改良技術事務所</td> </tr> </table>		種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭									本杭	上杭 中杭 下杭									工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事	図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書（その1）	年月日		尺度	- 図面番号 A-01	会社名		事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所																				
適用工事種類	技能検定作業																																																																																																													
仮設工事	・とび作業																																																																																																													
鉄筋工事	・鉄筋組立て作業																																																																																																													
コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業																																																																																																													
鉄骨工事	・構造物鉄骨作業																																																																																																													
コンクリートブロック	・コンクリートブロック工事作業																																																																																																													
・ALCパネル	・エーエルシーパネル工事作業																																																																																																													
・押出成形セメント板工事																																																																																																														
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート一工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																																													
石工事	・石張り作業																																																																																																													
タイル工事	・タイル張り作業																																																																																																													
木工事	・大工工事作業																																																																																																													
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業																																																																																																													
金属工事	・鋼製土工事作業 ・内外装板金作業																																																																																																													
左官工事	・左官作業																																																																																																													
建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																																																																																													
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業																																																																																																													
塗装工事	・建築塗装作業																																																																																																													
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業																																																																																																													
排水工事	・建築配管作業																																																																																																													
舗装工事	・溶融べントハンドマーカ－工事作業 ・加熱べントマシンマーカ－工事作業																																																																																																													
舗装工事	・造園工事作業																																																																																																													
	種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																					
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																													
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																													
工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事																																																																																																													
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書（その1）																																																																																																													
年月日																																																																																																														
尺度	- 図面番号 A-01																																																																																																													
会社名																																																																																																														
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所																																																																																																													
<p>特記仕様書</p> <p>1 工事概要</p> <p>1. 工事場所 京都市伏見区深草大亀谷大山町官有地</p> <p>2. 敷地面積</p> <p>3. 工事種目 1) 資材庫新設工事</p> <p>4. 工事範囲</p> <p>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。</p> <p>○「3. 工事種目」のうち工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</p> <p>・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>② 仮設工事</th> <th>工事範囲すべて</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ 土工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>④ 地業工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>⑤ 鉄筋工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>⑥ コンクリート工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>⑦ 鉄骨工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 防水工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 石工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 タイル工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 木工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>⑨ 屋根及びとい工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>14 金属工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩ 左官工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>16 建具工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17 カーテンウォール工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪ 塗装工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>19 内装工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20 ユニット及びその他の工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫ 排水工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>⑬ 舗装工事</td> <td>図 示</td> </tr> <tr> <td>23 舗装及び屋上緑化工事</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	② 仮設工事	工事範囲すべて	③ 土工事	図 示	④ 地業工事	図 示	⑤ 鉄筋工事	図 示	⑥ コンクリート工事	図 示	⑦ 鉄骨工事	図 示	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事		9 防水工事		10 石工事		11 タイル工事		⑧ 木工事	図 示	⑨ 屋根及びとい工事	図 示	14 金属工事		⑩ 左官工事	図 示	16 建具工事		17 カーテンウォール工事		⑪ 塗装工事	図 示	19 内装工事		20 ユニット及びその他の工事		⑫ 排水工事	図 示	⑬ 舗装工事	図 示	23 舗装及び屋上緑化工事		<p>章 項 目 特 記 事 項</p> <p>① 一般共通事項</p> <p>① 適用基準等 (1.1.4)</p> <p>図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。</p> <p>○公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。</p> <p>○建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課その他</p> <p>○建築工事監理指針(上/下巻)(令和4年版) ((一社)公共建築協会)</p> <p>・</p> <p>② 工事実績情報サービスへの登録</p> <p>※適用する</p> <p>③ 適用区分</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>○風圧力</p> <p>風速 (V₀ = 32m/s)</p> <p>地表面粗度区分 (・I ・II ・III ○IV)</p> <p>○積雪荷重</p> <p>建設省告示第1455号における区域 別表 (32)</p> <p>④ 工事写真の撮影対象 (1.2.4)</p> <p>※営繕工事写真撮影要領(令和5年版)による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編(令和5年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修による。</p> <p>5 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>※適用する</p> <p>6 施工条件 (1.3.5)</p> <p>下記以外は現場説明書による。</p> <p>・工事用地 ※図示</p> <p>・資材置場 ※図示</p> <p>⑦ 発生材の処理等 (1.3.11)</p> <p>※現場説明書による ・構外搬出適切処理</p> <p>⑧ 環境への配慮 (1.4.1)</p> <p>(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。</p> <p>1 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>2 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>3 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。</p> <p>4 1の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の1又は2に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3又は4に該当する材料を指す。</p> <p>1建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</p> <p>2建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>3建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</p> <p>4建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>⑨ 材料の品質等 (1.4.2)</p> <p>(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の1から6の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関【(一社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」】の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。</p> <p>1品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>2生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>3安定的な供給が可能であること。</p> <p>4法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>5製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>6販売、保守等の営業体制を整えていること。</p> <p>(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料</p> <p>床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、アルミニウム製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地)、アルミニウム製建具(木下地)、樹脂製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地)、樹脂製建具(木下地)、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリースアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレティング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、</p>	<p>11 化学物質の濃度測定 (1.5.9)</p> <p>(1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。</p> <p>(2) 測定対象室及び測定箇所は仕上げ表による。</p> <p>(3) 測定は、パッシブ型採取機器により行う。</p> <p>(4) 測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。</p> <p>② 完成時の提出図書 (1.7.1~3) (表1.7.1)</p> <p>※完成図書 提出部数 ※ (A3版 原因及び複写図(2部)) ・ 部</p> <p>CADデータ ※提出する ・提出しない</p> <p>※保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・ 部</p> <p>③ 完成写真</p> <p>工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>画素数・画質等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・カラー ※キャビネ版</td> <td>外部 () 内部 ()</td> <td>※2 ・</td> <td rowspan="2">※500万画素以上</td> </tr> <tr> <td>外観正面 (※1 ・)</td> <td>※5 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・カラー四切木製パネル</td> <td>外部 () 内部 ()</td> <td>※2 ・</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・カラー半切木製パネル</td> <td>外部 () 内部 ()</td> <td>※2 ・</td> </tr> <tr> <td>・電子データ</td> <td>外部 () 内部 ()</td> <td>※2 ・</td> <td>※500万画素以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形最高画像とし、00-Rにて提出する。</p> <p>・建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者</p> <p>④ 他工事又は他工種との取合い</p> <p>工事区分表による。これにより難しい場合は監督職員と協議する。</p> <p>⑤ 設計GL ※図示</p> <p>② 仮設工事</p> <p>① 足場その他 (2.2.4)</p> <p>・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>② 監督職員事務所 (2.3.1)</p> <p>・設ける ○設けない</p> <p>規模及び仕上げの程度は現場説明書による。</p> <p>③ 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる (・有償 ・無償)</p> <p>④ 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる (・有償 ・無償)</p> <p>③ 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)</p> <p>埋戻し及び盛土の種類</p> <p>・A種 適用場所 ()</p> <p>○B種 適用場所 (土間全全般)</p> <p>・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 ()</p> <p>・D種 適用場所 ()</p> <p>② 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>○構外搬出適切処理</p> <p>・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に敷均し</p> <p>3 山留めの撤去 (3.3.3)</p> <p>・鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する</p> <p>・山留め壁の存置 ・行う (存置範囲 ※図示)</p>	分類・規格	撮影箇所数	提出部数	画素数・画質等	・カラー ※キャビネ版	外部 () 内部 ()	※2 ・	※500万画素以上	外観正面 (※1 ・)	※5 ・	・カラー四切木製パネル	外部 () 内部 ()	※2 ・		・カラー半切木製パネル	外部 () 内部 ()	※2 ・	・電子データ	外部 () 内部 ()	※2 ・	※500万画素以上	<p>④ 地業工事</p> <p>① 支持地盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭基礎 (4.2.1) (4.3.4) (4.3.5) (4.5.5) (4.5.6) 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ・図示による（ ） ○直接基礎 (4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ○図示による（ ） 試験掘り（根切り底の状態の確認等） (3.2.1) ・行わない ○行う 位置等（資材庫基礎部根切り底の状態の確認）・図示による（ ） ・杭の載荷試験 (4.2.3) 試験の位置、方法等 ・図示による（ ） ・地盤の載荷試験 (4.2.4) 試験の位置、方法等 ・図示による（ ） 2 既製コンクリート杭地業 (4.3.3) 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外設鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） (4.2.2) (4.3.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>コンクリート強度 (N/mm²)</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セツト数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 (4.3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・セメントミルク工法 (4.2.2) (4.3.1) (4.3.4) 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（ ） 掘削深さ ・図示による（ ） 杭の支持層への掘入れ深さ ・図示による（ ） 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内 ・特定埋込杭工法 (4.2.2) (4.3.1) (4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α = ()、β = ()、γ = () 工法 ・フレポリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周固定液 ・使用する ・使用しない 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（ ） 杭の支持層への掘入れ深さ ・図示による（ ） 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の内容による 杭の傾斜 ※評定等の内容による 杭継手工法 (4.3.3) (4.3.6) (7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 杭頭の処理 (4.3.8) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断に伴う補強方法含む） ・図示による（ ） <table border="1"> <tr> <td>工事名</td> <td>令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事</td> </tr> <tr> <td>図面名</td> <td>新設資材庫 建築工事特記仕様書（その1）</td> </tr> <tr> <td>年月日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>尺度</td> <td>- 図面番号 A-01</td> </tr> <tr> <td>会社名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業(務)所名</td> <td>近畿農政局 土地改良技術事務所</td> </tr> </table>		種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭									本杭	上杭 中杭 下杭									工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事	図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書（その1）	年月日		尺度	- 図面番号 A-01	会社名		事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所
② 仮設工事	工事範囲すべて																																																																																																													
③ 土工事	図 示																																																																																																													
④ 地業工事	図 示																																																																																																													
⑤ 鉄筋工事	図 示																																																																																																													
⑥ コンクリート工事	図 示																																																																																																													
⑦ 鉄骨工事	図 示																																																																																																													
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事																																																																																																														
9 防水工事																																																																																																														
10 石工事																																																																																																														
11 タイル工事																																																																																																														
⑧ 木工事	図 示																																																																																																													
⑨ 屋根及びとい工事	図 示																																																																																																													
14 金属工事																																																																																																														
⑩ 左官工事	図 示																																																																																																													
16 建具工事																																																																																																														
17 カーテンウォール工事																																																																																																														
⑪ 塗装工事	図 示																																																																																																													
19 内装工事																																																																																																														
20 ユニット及びその他の工事																																																																																																														
⑫ 排水工事	図 示																																																																																																													
⑬ 舗装工事	図 示																																																																																																													
23 舗装及び屋上緑化工事																																																																																																														
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	画素数・画質等																																																																																																											
・カラー ※キャビネ版	外部 () 内部 ()	※2 ・	※500万画素以上																																																																																																											
	外観正面 (※1 ・)	※5 ・																																																																																																												
・カラー四切木製パネル	外部 () 内部 ()	※2 ・																																																																																																												
	・カラー半切木製パネル	外部 () 内部 ()		※2 ・																																																																																																										
・電子データ	外部 () 内部 ()	※2 ・	※500万画素以上																																																																																																											
	種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																					
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																													
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																													
工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事																																																																																																													
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書（その1）																																																																																																													
年月日																																																																																																														
尺度	- 図面番号 A-01																																																																																																													
会社名																																																																																																														
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所																																																																																																													

3 鋼杭地業	寸法、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)							
	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭							
本杭	上杭 中杭 下杭							
・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)(4.4.4) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha = ()$ 、 $\beta = ()$ 、 $\gamma = ()$ 工法 ・中掘り拡大根固め工法 試験杭 試験杭の位置 ・図示による () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の内容による 杭の傾斜 ※評定等の内容による 杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5) ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 杭頭の処理 (4.3.8)(4.4.6) ・処理しない ・処理する 処理方法 (切断をとまう補強方法含む) ・図示による () 杭頭の中詰め材料 (4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調合のもの 工法 (4.5.1)(4.5.5) ・アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・使用しない) ・リバー工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法 (4.5.1)(4.5.6) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・SKK400 ・SKK490 ・拡底杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) 寸法等 (4.2.2)								
4 場所打ち コンクリート杭地業	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (mm)	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
	試験杭							
本杭								
試験杭 (4.5.5) 試験杭の位置 ・図示による () 孔壁の保持状況 (孔壁測定) (4.5.5) 測定箇所 ・試験杭 ()箇所及び本杭 ()箇所 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の内容による 杭の傾斜 ・1/100以内 ・評定等の内容による 鉄筋の種類 (4.5.4) 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 ・SD295A ・SD345 ・ 帯筋 (4.5.4) ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 2.2) 鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4) ・100mm								

⑤ 砂利地業	鉄筋かごの補強 (4.5.4) ・図示による () ・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する															
	組み立てた鉄筋かごの継手 (4.5.4)(5.3.4) ※重ね継手 重ね継手の長さ ・図示による ()															
⑥ 捨コンクリート地業	主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4) ・図示による ()															
	セメントの種類 (4.5.4) ※高炉セメントB種 ㊥															
7 床下防湿層	コンクリートの種類 (4.5.4)(表4.5.1) ・A種 ・B種 ・評定等の内容による															
	スランプ (4.5.4) ※18cm															
⑦ 鉄筋	材料 (4.6.2) ◎再生クラッシュラン ㊥ ・切込砂利及び切込砕石															
	砂利厚さ (4.6.3) ※80mm 適用箇所 ・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ◎図示による ()															
⑧ 溶接金網	捨コンクリートの厚さ (4.6.4) ※50mm 施工範囲 (4.6.4)(6.14.1) ・基礎梁下、土に接するスラブ下 ◎図示による () 設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1) ※18N/mm ² スランプ (4.6.4)(6.14.1) ※15cm又は18cm															
	材料 (4.6.2) ・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 (4.6.5) ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下															
⑨ 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の種類 (5.2.1)															
	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>◎ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類の記号	呼び径 (mm)	備考	◎ SD295A	※ D16以下		◎ SD345	※ D19以上		・			・	
種類の記号	呼び径 (mm)	備考														
◎ SD295A	※ D16以下															
◎ SD345	※ D19以上															
・																
・																
⑩ コンクリートの種類等	鉄線の形状等 (5.2.2)															
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>◎溶接金網</td> <td>WFR</td> <td>図示</td> <td>土間</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	◎溶接金網	WFR	図示	土間	・鉄筋格子					
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位													
◎溶接金網	WFR	図示	土間													
・鉄筋格子																
⑪ 鉄筋の継手の方法等	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)															
	<table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱及び梁主筋</td> <td>◎ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・重ね継手 ・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記以外 (帳壁)</td> <td>◎重ね継手</td> <td></td> </tr> </table>		部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	◎ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手	※ D19以上	耐力壁の鉄筋	・重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接		上記以外 (帳壁)	◎重ね継手
部位	継手の方法	呼び径 (mm)														
柱及び梁主筋	◎ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手	※ D19以上														
耐力壁の鉄筋	・重ね継手															
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接															
上記以外 (帳壁)	◎重ね継手															
⑫ 継手位置	継手位置 (5.3.4) ◎図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 1.1、2.1、3.1、3.4、3.5、4.2) 基礎主筋の継手位置 ◎図1.2 ・図1.3 ・図1.4 ・図示による ()															
	柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4) ・図示による ()															
⑬ 耐力壁の重ね継手の長さ	耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ・標準仕様書表5.3.2による ・標準仕様書 5.3.4(3)(ア)による ・図示による ()															
	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※標準仕様書表5.3.4による															

⑭ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) (5.3.5) ◎標準仕様書 表5.3.6による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・あり 使用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm																		
	各部配筋 (5.3.7) 各配筋箇所 ※図示による																		
⑮ 圧接完了後の試験	外観試験 (5.4.10)(5.4.11) ※行う (全ての圧接部)																		
	抜取試験 (5.4.10)(5.4.11) ※超音波探傷試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。 ・引張試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200か所を超えるときは200か所ごととする。 試験の箇所数：1ロットに対して (・3本 ・5本) とする。																		
7 機械式継手	適用箇所 (5.5.2) ・図示による ()																		
	H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2) ・A級																		
8 溶接継手	機械式継手の種類 (5.5.2) ・図示による ()																		
	鉄筋相互のあき (5.5.3)(5.5.2) ・図示による () 施工完了後の継手部の試験 (5.5.2) ・図示による () 不合格となった継手部への措置 (5.5.2) ・図示による () 適用箇所 (5.6.3) ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3) ・A級 溶接継手の工法 (5.6.3) ・図示による () 鉄筋相互のあき (5.6.3) ・図示による () 溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3) ・図示による () 不合格となった継手部への措置 (5.6.3) ・図示による ()																		
⑯ コンクリートの種類等	コンクリートの種類 (6.2.1) ※1類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・1類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ※普通コンクリート (6.2.1~4)																		
	<table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>◎21</td> <td>・15又は18 ◎18</td> <td>工事関連全てのコンクリート</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>		設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	◎21	・15又は18 ◎18	工事関連全てのコンクリート	・	・		・	・		・	・		・	・
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																	
◎21	・15又は18 ◎18	工事関連全てのコンクリート																	
・	・																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
⑰ セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の地、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 ㊥ 適用箇所 (・IFLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 ㊥ 適用箇所 ()																		
	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下)																		

⑱ 混和材料	◎混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による								
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(ア)~(ウ)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状 (6.8.1) ・図示による ()								
⑳ コンクリートの仕上げ	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)								
	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>◎C種</td> <td>※図示による () ◎全打ち放し面</td> </tr> </table>		種別	適用箇所	・A種	※図示による ()	・B種	※図示による ()	◎C種
種別	適用箇所								
・A種	※図示による ()								
・B種	※図示による ()								
◎C種	※図示による () ◎全打ち放し面								
7 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.5)								
	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table>		種別	適用箇所	・a種	※図示による ()	・b種	※図示による ()	・c種
種別	適用箇所								
・a種	※図示による ()								
・b種	※図示による ()								
・c種	※図示による ()								
㉑ 型枠	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による () せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ◎合板 (※12mm) ㊥ ・断熱材の兼用した型枠 使用箇所 ・図示による () ・MOR工法用シート 適用箇所 (6.8.2) ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による ()								
	スリーブの材質・規格等 (6.8.2) ・図示による ()								
9 軽量コンクリート	種類 (6.10.1)(表6.10.1) ・1種 ・2種 適用箇所 ・図示による () スランプ ※21cm								
	適用期間 (6.11.1) ・図示による () ・積算温度を基に定める場合 ・図示による ()								
10 寒中コンクリート	構造体強度補正值 (S) (6.12.2) ※6N/mm ²								
	適用箇所 (6.13.1) ・図示による ()								
11 暑中コンクリート	セメントの種類 (6.13.2) ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ㊥ ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント								
	混和材料 (6.13.2) ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤								
12 マスコンクリート	スランプ (6.13.2) ※15cm								
	構造体強度補正值 (s) (6.13.2) ※表6.13.11による								

工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書 (その2)
年月日	
尺度	- 図面番号 A-02
会社名	
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所

6 コンクリート工事 続き	13 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18(N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ・標準仕様書 6.14.1(4)(ア)～(カ)による ・図示による()	(6.2.1)(6.14.1)	⑥ アンカーボルト	適用 (7.2.4)(7.10.3) ○適用アンカーボルト 種類 ・大径認定柱脚(メーカー仕様による) 形状、寸法 ○図示による(構造図参照) ・建方用アンカーボルト 種類 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書7.2.3による 形状、寸法 ・図示による()	⑧ 錆止め塗装	塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示による() ・標準仕様書7.8.2(1)による 塗料の種類 ○鉄鋼面の錆止め塗料の種類 屋外 ○A種 屋内 ・A種 ・B種 ○亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種類 ○A種 ・B種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類(表18.3.1) ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類	(7.8.2)	8 コンクリートブロック パネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリート ブロック造	ブロックの種類 (8.2.2～5)	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び 寸法(mm)	化粧の 有無	適用箇所	備考						
	14 流動化コンクリート	適用箇所 ・図示による()	(6.15.1)	⑦ 溶接材料	溶接材料 ○標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・図示による()	19 耐火被覆	種類、材料、工法等 (7.9.2～8)	種類		材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	2 コンクリートブロック 帳壁及び扉	ブロックの種類 (8.3.2)～(8.3.4)	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び 寸法(mm)	化粧の 有無	(表8.3.1)以外 の適用箇所	備考			
	15 コンクリートの単位 水量測定	・行う ・行わない 実施要領 (1)単位水量の測定は、150mに1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(イ)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。) ±15kg/mの範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/mの範囲にある場合は、水量変動の 原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。 その後設計値±15kg/m以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定 を行う。 3)設計値±20kg/mを超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因 を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運 搬車の測定を行い設計値±20kg/m以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、 コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静 電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	(7.2.1)	⑧ ターンバックル	種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル胴 ※割付式 ねじの呼び ○図示による(構造図参照)	7.2.6	9 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (7.2.7)		種 類	材 料・工 法	性 能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	3 ALCパネル	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び 寸法(mm)	化粧の 有無	(表8.3.1)以外 の適用箇所	備考			
	⑦ 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ○Mグレード (7.1.3)	7.1.3	9 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (7.2.7)	10 スタッド	種類等 (7.2.8)		呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	種 類	材 料・工 法	性 能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	3 ALCパネル	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び 寸法(mm)	化粧の 有無	(表8.4.2～4)	備考
	② 施工管理技術者	・適用する ○適用しない (7.1.3)(7.1.4)	7.1.3	11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 (7.2.8)	10 スタッド	呼び名	呼び長さ(mm)		適用箇所	種 類	材 料・工 法	性 能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	3 ALCパネル	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び 寸法(mm)	化粧の 有無	(表8.4.2～4)	備考		
	③ 鋼材	材質等 (7.2.1)	7.2.1	12 柱底均しモルタル	モルタルの種類 (7.2.9)	⑨ 製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	7.3.3		14 鉄骨の仮組	仮組を行う範囲 (7.3.10)	⑩ 溶接接合	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4)

工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事		
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書(その3)		
年月日			
尺度	-	図面番号	A-03
会社名			
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所		

9 防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2~5) (表9.2.3~9)	<p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [G]</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・A1-1 ・A1-2 ・A1-3 ・B1-1 ・B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上</td> <td>・乾式保護材 ・コンクリート押入</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上</p> <p>立上り部の保護 ・乾式保護材 高気圧バネル・無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シオークレブ養生したもの。 金属複合板 : 金属板と樹脂を積層一体化したもの。 ・保護れんが ※TIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが) 屋上排水溝 ※図示</p> <p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用 [G]</th> </tr> <tr> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4 ・D1-1 ・D1-2</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による ・製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張り及び位置 ※図示 断熱材の種類</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>保護層 ・ 設ける (※図示) ・ 設けない 防水層の下地 立上りコンクリート打設仕上げ ※標準仕様書表6.2.4(打設仕上げ種類)のB種 押入金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の下地のモルタル塗り ・適用する (施工範囲) ※図示 ・適用しない</p>	種類	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護	・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・A1-1 ・A1-2 ・A1-3 ・B1-1 ・B1-2 ・B1-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート押入	種類	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 [G]	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4 ・D1-1 ・D1-2			・製造所の指定による ・製造所の仕様による		種類	施工箇所	種類	施工箇所	・E-1		・E-2		3 合成高分子系 ルーフィング シート防水 (9.4~2) (表9.4.1~2)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> </tr> <tr> <td>・S-F1 ・S-F2 ・S-W1 ・S-W2 ・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-W1 ・S1-W2</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による ・製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> </table> <p>屋内防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の保護モルタル塗り厚さ</th> </tr> <tr> <td>・S-C1</td> <td></td> <td>塗り厚さ ・現場 ・下地モルタル塗り</td> <td>※7mm以下</td> </tr> </table> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による 立上り部のシートの厚さ (S-W2及びS1-W2で接着工法の場合) ※1.5mm 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ (mm) ※0.4以上</p> <p>断熱材の種類 断熱工法の防湿用フィルム ・設置する ・設置しない 接着工法の場合の断気装置の種類及び設置数量 ・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・種類 () 設置数量 (個)</p> <p>防水下地 ・ P-Cコンクリート部下地の場合の処理 目地処理 ※図示 入隅部の増張り (S-F1, S1-F1の場合) ※図示</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部ルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p>	種類	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	・S-F1 ・S-F2 ・S-W1 ・S-W2 ・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-W1 ・S1-W2			・製造所の指定による ・製造所の仕様による		種類	施工箇所	平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ	・S-C1		塗り厚さ ・現場 ・下地モルタル塗り	※7mm以下	10 石工事	1 施工 (10.1.3) (10.1.5)	<p>石材の割付け ※標準仕様書10.1.3(ア) (イ)による ・図示 組立仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ・図示 扉内の床を本層きとする場合のワックスかけ ・行う (適用箇所 ・ 全て) ・行わない</p> <p>天然石 (10.2.1~3) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>石材の種類</th> <th>形状</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>・正方形に近い矩形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>テラゾブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・段もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>テラゾタイル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考		・1等品 ・2等品		・正方形に近い矩形					施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・段もの	・片面 ・両面				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型			7 アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.7.1) (10.7.2)	<p>取付け工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 内壁湿式工法 ・ 乾式工法 外壁湿式工法又は内壁湿式工法の取付け金物 ・ 標準仕様書10.2.2(1)による ・ 図示 乾式工法の取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 系金物及び化粧用ボルト ・ 設ける 角金物 ※ステンレス (SUS 304) 径6mm長さ80mm (加工物) ・ 設ける 角金物 ※ステンレス (SUS 304) M10化粧ナット付き ・ 設けない 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない アンカーの材質及び径 ※ステンレス (SUS 304) M10 寸法 : () あと施工アンカーの材質及び寸法 (材質 : 寸法 :) 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 伸縮調整目地 位置 ※他の部位との取合い部 ・ 図示</p>	8 窓木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1) (10.7.3)	<p>取付け工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法 外壁湿式工法の取付け金物 ・ 標準仕様書10.2.2(1)による ・ 図示 乾式工法の取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の取付け方式 ※標準仕様書10.5.3(2)による 石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない アンカーの材質及び径 ・ ステンレス (SUS 304) M10 寸法 : () あと施工アンカーの材質及び寸法 (材質 : 寸法 :)</p>	11 タイル工事 (11.1.3) (表11.1.1)	<p>1 伸縮調整目地及びひび割れ発生目地 (11.1.3) (表11.1.1) 位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・ 図示</p> <p>2 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2) (11.2.3) (11.2.7)</p> <p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生素材の適用 [G]</th> <th colspan="2">吸水率に よる区分</th> <th colspan="2">うねり</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>IV類</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの取物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない モルタル塗りのコンクリート高地面の処理 ・ 乾式工法 ・ 自蒸し工法 (高圧洗浄)</p> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良糊上げ張り ・ 改良接着剤 ・ ユニットタイル 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良糊上げ張り ・ 改良接着剤 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既設モルタルの使用 モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント・繊維材、澱粉剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)	再生素材の適用 [G]	吸水率に よる区分		うねり		色		耐凍害性		耐滑り性	備考	I類	II類	III類	IV類	有	無	有	無														3 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~4) (11.3.7)	<p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生素材の適用 [G]</th> <th colspan="2">吸水率に よる区分</th> <th colspan="2">うねり</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>IV類</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの取物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1~8 種への配慮 (2) による) 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ひび割れ発生目地 ※ポリウレタン系シーリング材 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 下地調整塗材を行うコンクリート高地面の処理 ・ 乾式工法 ・ 自蒸し工法 (高圧洗浄)</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)	再生素材の適用 [G]	吸水率に よる区分		うねり		色		耐凍害性		耐滑り性	備考	I類	II類	III類	IV類	有	無	有	無													2 改質アスファルト シート防水 (9.3.2.3) (表9.3.1~3)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [G]</th> <th>防湿層</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用 [G]</th> </tr> <tr> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td></td> <td></td> <td>・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない</td> <td>・製造所の指定による ・製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 断熱材の種類 押入金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の断気装置の種類及び設置数量 ・改質アスファルトシートの製造所の指定の種類及び設置数量 ・種類 () 設置数量 (個)</p>	種類	施工箇所	断熱材 [G]	防湿層	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 [G]	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS1-T1 ・AS1-J1			・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない	・製造所の指定による ・製造所の仕様による		4 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>保護層</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> </tr> <tr> <td>・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2</td> <td></td> <td>・製造所の指定による ・製造所の仕様による</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法) の断気装置の種類及び設置数量 ・主材料の製造所の仕様による ・種類 () 設置数量 (個)</p> <p>ゴムアスファルト系塗膜防水 Y-1, Y-2 工数及び各工程の使用量 ・主材料の製造所の仕様による</p>	種類	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水の適用	・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2		・製造所の指定による ・製造所の仕様による			5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1.3) (表9.6.1.2)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※C-U1</td> <td></td> <td>・C-UP</td> <td></td> </tr> </table> <p>防水層の下地 (壁及び天井) ・ コンクリート打設 (B種) 下地処理 (コンクリートの打設処理) ・ 標準仕様書9.6.4(2) (ア)</p>	種類	施工箇所	種類	施工箇所	※C-U1		・C-UP		6 シーリング (9.7.2) (表9.7.1)	<p>下表以外は、標準仕様書表9.7.1(1)による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験</p>	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)									6 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)	<p>床石張りの裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 階段張りの裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 目地 一般目地 目地幅 (mm) ・ 図示 シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い溝の場合60mm程度ごと及び他部材との取合い部 ・ 図示</p>
	種類	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																																																																																																																																									
・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・A1-1 ・A1-2 ・A1-3 ・B1-1 ・B1-2 ・B1-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート押入																																																																																																																																																																																																																										
種類	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 [G]																																																																																																																																																																																																																										
・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4 ・D1-1 ・D1-2			・製造所の指定による ・製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																											
種類	施工箇所	種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																											
・E-1		・E-2																																																																																																																																																																																																																												
種類	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用																																																																																																																																																																																																																										
・S-F1 ・S-F2 ・S-W1 ・S-W2 ・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-W1 ・S1-W2			・製造所の指定による ・製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																											
種類	施工箇所	平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ																																																																																																																																																																																																																											
・S-C1		塗り厚さ ・現場 ・下地モルタル塗り	※7mm以下																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																							
	・1等品 ・2等品		・正方形に近い矩形																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																							
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・段もの	・片面 ・両面																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																									
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	形状寸法 (mm)	再生素材の適用 [G]	吸水率に よる区分		うねり		色		耐凍害性		耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																		
			I類	II類	III類	IV類	有	無	有	無																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	形状寸法 (mm)	再生素材の適用 [G]	吸水率に よる区分		うねり		色		耐凍害性		耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																		
			I類	II類	III類	IV類	有	無	有	無																																																																																																																																																																																																																				
種類	施工箇所	断熱材 [G]	防湿層	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 [G]																																																																																																																																																																																																																									
・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS1-T1 ・AS1-J1			・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない	・製造所の指定による ・製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																										
種類	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水の適用																																																																																																																																																																																																																										
・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2		・製造所の指定による ・製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																												
種類	施工箇所	種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																											
※C-U1		・C-UP																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																																																																													

工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材建築工事
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書 (その4)
年月日	
尺度	- 図面番号 A-04
会社名	
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所

① 表面仕上げ (12.1.4)
② 製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)
③ 造作用集成材 (12.2.1)
④ 接合部 (12.2.2) (12.2.3)

4 造作用単級積層材 (12.2.1)
5 保張り用合板等 (12.2.1)
6 接合部 (12.2.2) (12.2.3)
7 防腐・防蟻処理 (12.3.1) (12.3.2)
8 間仕切軸に用いる木材 (12.4.1)
9 床組に用いる木材 (12.4.1)
10 窓、出入口、その他に用いる木材 (12.5.1)
11 絶甲板及び上がまちに用いる木材 (12.6.1)
12 壁及び天井に用いる木材 (12.7.1)
③ 屋根及びとい工事 (13.2.2) (13.2.3)
2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)
3 粘土瓦葺 (13.4.2.3)
④ とい (13.5.2.3)

14 金属工事 (14.2.1) (表14.2.1)
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.2)
3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)
4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)
5 軽量鉄骨下地 (14.5.3) (表14.5.1)
6 金属成形保張り (14.6.3) (表14.2.1)
7 アルミニウム製窓木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.2.1) (表14.7.1)
8 手すり及びタラップ (14.8.2) (14.8.3)

④ 表面仕上げ (12.1.4)
④ 製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)
④ 造作用集成材 (12.2.1)
④ 接合部 (12.2.2) (12.2.3)
④ 防腐・防蟻処理 (12.3.1) (12.3.2)
④ 間仕切軸に用いる木材 (12.4.1)
④ 床組に用いる木材 (12.4.1)
④ 窓、出入口、その他に用いる木材 (12.5.1)
④ 絶甲板及び上がまちに用いる木材 (12.6.1)
④ 壁及び天井に用いる木材 (12.7.1)
④ 屋根及びとい工事 (13.2.2) (13.2.3)
④ 折板葺 (13.2.2) (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)
④ 粘土瓦葺 (13.4.2.3)
④ とい (13.5.2.3)
④ 金属工事 (14.2.1) (表14.2.1)
④ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.2)
④ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)
④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)
④ 軽量鉄骨下地 (14.5.3) (表14.5.1)
④ 金属成形保張り (14.6.3) (表14.2.1)
④ アルミニウム製窓木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.2.1) (表14.7.1)
④ 手すり及びタラップ (14.8.2) (14.8.3)

工事名 令和6年度 土地改良技術
図面名 新設資材庫 建築工事特記仕様書 (その5)
年月日
尺度 - 図面番号 A-05
会社名
事業(務)所名 近畿農政局 土地改良技術事務所

15 左 工 事	1 ラス系下地 (15.2.4)	<p>下地の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通気工法 (・二層下地 ・単層下地) ・気密工法 (・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・図示 (外装断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合) <p>ラス下地版、下地用合板、面材等の仕様</p> <p>※「公共建築木造工事標準仕様書」の10章8節(外壁回り)による</p> <p>・図示 (建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定がある場合)</p> <p>材料 ラス材及び補強用プラス</p> <p>通気工法二層下地 ※2種 波形ラス700</p> <p>通気工法単層下地 ※2種 波形ラス800</p> <p>ラスシートの高さ 山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分</p> <p>※JIS S4 (耐力壁の場合)</p> <p>ステープルの形状及び付法</p> <p>リプラス ※JIS2515</p> <p>波形ラス ※JIS1019JS</p>	12 こまい壁建り (15.11.1)	<p>工法 ・土物仕上げ (・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法)</p> <p>・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法</p> <p>・砂壁仕上げ工法</p> <p>・切返し仕上げ工法</p> <p>・大津仕上げ (・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき工法)</p> <p>材料 土壁用ののりの種類 ※ふのり</p> <p>土壁用ののりの種類 ※ふのり</p> <p>色土の種類 ・土物仕上げ () ・大津仕上げ ()</p> <p>割合 下壁りの割合 ※標準仕様書表15.11.2による</p> <p>塗厚 ※標準仕様書表15.11.8による</p> <p>・図示 (建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合)</p> <p>工程 こまい壁 ※A種 ・B種</p>	10 木製建具 (16.7.2~4)	<p>建具材の加工、組立時の含水率 ※B種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>・フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>樹種・樹種等</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通適合板 G</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度 ()) 不透明塗料塗り (※しな合板程度 ()) 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 G</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 G</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面材の厚さ ※表16.7.6による</p> <p>・かまち戸 かまち樹種 () 縦板樹種 () 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 工法 ・I型 ・II型 上張り ・鳥の子 ・新高の子又はビニル化粧板 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁 (業地) ・生地縁 (ウレタン) (ヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>特、くつずりの材料 ・建具表による</p>	合板の種類	樹種・樹種等	備 考	・普通適合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度 ()) 不透明塗料塗り (※しな合板程度 ()) 接着の程度 (・1種 ・2種)		・天然木化粧合板 G	樹種名 () 接着の程度 (・1種 ・2種)		・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1種 ・2種)		16 軽量シャッター (16.12.2~4) (表16.12.1)	<p>開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () N/m²</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p> <p>スラットの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z6又はF06 ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※A200 <p>スラットの形状 ・インターロック形状 ・オーバーラッピング形</p>																																																																													
	合板の種類	樹種・樹種等	備 考																																																																																														
	・普通適合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度 ()) 不透明塗料塗り (※しな合板程度 ()) 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																															
	・天然木化粧合板 G	樹種名 () 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																															
	・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																															
	2 せっこうボード、その他のボード下地 (15.2.5)	<p>材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ</p> <p>せっこうボード 種類 () 厚さ ()</p> <p>せっこうラスボード 種類 () 厚さ ()</p> <p>木質系セメント板 種類 () 厚さ ()</p>	13 ロックウール収付け (15.12.2) (15.12.3)	<p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>収付け厚さ (mm) ・図示 ・25</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																									
	3 こまい下地 (15.2.6)	<p>建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・なし ・あり</p>	16 建具工事 (16.1.3)	<p>※建具表による</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																									
	4 木ずり下地 (15.2.7)	<p>材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉 (心取り材)</p>	16 建具工事 (16.1.4)	<p>建具見本の製作 ・行う (建具符号:) ・行わない</p> <p>建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの</p> <p>特殊な建具の取組 ・行う (建具符号:) ・行わない</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																									
	5 モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5)	<p>モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 ()</p> <p>既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ()) ・設けない</p> <p>床の目地 ・設ける (目地割 ※2種 (最大目地間隔30程度)) (種類 ※押し目地 ()) ・設けない</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験</p> <p>・適用する ・適用しない</p>	16 建具工事 (16.1.6)	<p>防火戸</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																									
	6 セルフレベリング剤塗り (15.5.2) (表15.5.1)	<p>・せっこう系 ・セメント系</p>	16 建具工事 (16.1.6)	<p>防火戸</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																									
	7 仕上塗材仕上げ (15.6.2) (表15.6.1)	<p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)</p> <p>仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>-</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>-</td> <td>・ゆず肌状 (・収付け ・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>-</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>-</td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>-</td> <td>・凹凸状 (・収付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>-</td> <td>・着色骨材砂壁状 (・収付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C</td> <td>-</td> <td>・砂壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td> <td>-</td> <td>・吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>-</td> <td>・耐湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材C</td> <td>-</td> <td>・吹散し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>-</td> <td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C</td> <td>-</td> <td>・吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材G</td> <td>-</td> <td>・上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材L</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材CE</td> <td>-</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>-</td> <td>・上塗材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材E</td> <td>-</td> <td>・耐候性 ※耐候剤3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材FE</td> <td>-</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>-</td> <td>・樹脂 ※アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>-</td> <td>・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・耐湿骨材仕上塗材</td> <td>・収付用軽量塗材</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・こて塗用軽量塗材</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	-	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材Si	-	・ゆず肌状 (・収付け ・ローラー塗り)	・外装薄塗材E	-	・さざ波状	・可とう形外装薄塗材E	-	・平たん状	・防水形外装薄塗材E	-	・凹凸状 (・収付け ・こて塗り)	・外装薄塗材S	-	・着色骨材砂壁状 (・収付け ・こて塗り)	・内装薄塗材C	-	・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材Si	-	-	・内装薄塗材E	-	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・外装薄塗材E	-	・耐湿性 ・適用する ・適用しない	・厚付け仕上塗材	・外装薄塗材C	-	・吹散し ・凸部処理 ・平たん状	・外装薄塗材Si	-	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・外装薄塗材E	-	-	・内装薄塗材C	-	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・内装薄塗材G	-	・上塗材 ・適用する ・適用しない	・内装薄塗材L	-	-	・内装薄塗材Si	-	-	・内装薄塗材E	-	-	・複層仕上塗材	・複層塗材CE	-	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	・可とう形複層塗材CE	-	-	・複層塗材Si	-	・上塗材	・複層塗材E	-	・耐候性 ※耐候剤3種	・複層塗材FE	-	・溶媒 ※水系 ・溶剤系	・防水形複層塗材CE	-	・樹脂 ※アクリル系	・防水形複層塗材E	-	・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック	・耐湿骨材仕上塗材	・収付用軽量塗材	-	-	・こて塗用軽量塗材	-	-	-	16 建具工事 (16.1.6)	<p>防火戸</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																														
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	-	・砂壁状																																																																																														
	・可とう形外装薄塗材Si	-	・ゆず肌状 (・収付け ・ローラー塗り)																																																																																														
	・外装薄塗材E	-	・さざ波状																																																																																														
	・可とう形外装薄塗材E	-	・平たん状																																																																																														
	・防水形外装薄塗材E	-	・凹凸状 (・収付け ・こて塗り)																																																																																														
	・外装薄塗材S	-	・着色骨材砂壁状 (・収付け ・こて塗り)																																																																																														
	・内装薄塗材C	-	・砂壁状じゅらく																																																																																														
	・内装薄塗材Si	-	-																																																																																														
	・内装薄塗材E	-	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																														
	・外装薄塗材E	-	・耐湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																														
・厚付け仕上塗材	・外装薄塗材C	-	・吹散し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																														
	・外装薄塗材Si	-	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																														
	・外装薄塗材E	-	-																																																																																														
	・内装薄塗材C	-	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																														
	・内装薄塗材G	-	・上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																														
	・内装薄塗材L	-	-																																																																																														
	・内装薄塗材Si	-	-																																																																																														
	・内装薄塗材E	-	-																																																																																														
	・複層仕上塗材	・複層塗材CE	-	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状																																																																																													
	・可とう形複層塗材CE	-	-																																																																																														
・複層塗材Si	-	・上塗材																																																																																															
・複層塗材E	-	・耐候性 ※耐候剤3種																																																																																															
・複層塗材FE	-	・溶媒 ※水系 ・溶剤系																																																																																															
・防水形複層塗材CE	-	・樹脂 ※アクリル系																																																																																															
・防水形複層塗材E	-	・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック																																																																																															
・耐湿骨材仕上塗材	・収付用軽量塗材	-	-																																																																																														
・こて塗用軽量塗材	-	-	-																																																																																														
8 A L Cパネルの場合の下地処理 (15.4.4)	<p>内装目地部の形状 ※V形目地付き</p>	16 建具工事 (16.1.6)	<p>防火戸</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																										
9 マスチック塗材塗り (15.7.2)	<p>種類 ・A種 ・B種</p>	16 建具工事 (16.1.6)	<p>防火戸</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																										
10 せっこうプラスター塗り (15.8.2)	<p>材料 下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター</p> <p>・既調合プラスター ・現場調合プラスター</p>	16 建具工事 (16.1.6)	<p>防火戸</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																										
11 しゃくい塗り (15.10.1)	<p>下地 ※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード又はせっこうボード</p> <p>材料 ・現場調合材料 ・既調合材料 (しゃくいの塗材の種類等:)</p> <p>割合及び塗厚 (15.10.3)</p> <p>木づり下地 ※標準仕様書表15.10.1による</p> <p>こまい土壁下地 ※標準仕様書表15.10.2による</p>	16 建具工事 (16.1.6)	<p>防火戸</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p>	11 建具用金物 (16.8.2.3)	<p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹膠製建具に使用する下番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>樹膠玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>・建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>・建具表による</p> <p>・クロウゼ類</p> <p>・建具表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組</p> <p>錠前 ※有り ・無し</p>	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	<p>セクション材料 耐風圧 閉開方式 収納形式 ガイドレールの材質</p> <p>による区分 区分(伊) による区分 による区分</p> <p>※ステールタイプ ・125 ※ハラス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板</p> <p>・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形</p> <p>・50 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p>																																																																																										

工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材建築工事		
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書 (その6)		
年月日		図面番号	A-06
尺度	-	図面番号	A-06
会社名			
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所		

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構造	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
・電動式 ・支柱調整式	-	500×500	-	1.00	2.00N	帯電防止タイル	-
		-	-	0.60	5.00N	タイルカーペット	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)による
帯電防止性能 U値 (クラス1) U値 (クラス2)
漏えい抵抗 R21×10 Q²

表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質、アルミニウム製、鋼製(仕上げ)。
スロープ及びボーダー、製造所の仕様による。図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 20~30パーセント

配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上
図示
空調用吹き出し(吸い込み)パネル なし あり(形式、施工箇所:図示)

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	構成材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性能 (dB/500Hz)	防火性能
	スタッド	パネル		材質	厚さ (mm)		
・スタッド式(内蔵)	-	-	-	鋼板 0.6	メラミン樹脂 0.8	0	不燃
・スタッド式(露出)	-	-	-	鋼板又はアルミ樹脂板 0.8	樹脂板 0.8	20	-
・スタッドパネル式	-	-	-	-	化粧張り 0.8	28	-
・パネル式	-	-	-	-	-	36	-

パネル内に取付ける建具、あり(※図示) なし
表面仕上げ材を化粧張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)

3 移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)
				材質	パネル表面仕上げ	
・平行方向	・手動式	・プッシュ式	-	鋼板	機付塗装	36未満
・移動式	・電動式	・ハンドル式	-	-	化粧張り	36以上
・二方向	・部分電動式	-	-	-	-	-
・移動式	-	-	-	-	-	-

パネル表面仕上げの化粧張りの品質、性能、標準仕様書19章による
遮音性は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
・標準仕様書20.2.4(3)(ウ)による
図示
ハンガーレール
標準仕様書20.2.4(3)(オ)による
図示
ランナー
標準仕様書20.2.4(3)(カ)による

4 トイレブース (20.2.5)

表面材の材質	部		ドアエッジ
	形状	材質	
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の仕様	-

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)

5 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2)

施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	・塩化ビニル製	300×300	7.0
	・磁器質タイル(1階)	300×300	-
	・せつ磁質タイル(11階)	-	-
屋外	・レジンコンクリート製	300×300	-
	・コンクリート製	-	-
	・磁器質タイル(1階)	300×300	-
屋外	・せつ磁質タイル(11階)	-	-
	・レジンコンクリート製	300×300	-
コンクリート製			

ブロックパターンは JIS T 9251 による

6 階段滑り止め (20.2.6)

材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製 (SUS 304)	・約35	※接着工法	・あり
・ビニル系入り	-	・埋込み工法	・ステンレス製
・	-	-	・なし

7 手すり

材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
※構成材	・クリヤラッカー	・35 ・45	-	-
・ステンレスパイプ	・HL	-	-	-
・鋼製パイプ	・EP-g ・SOP	-	-	-
・ビニル製ハンドル	-	-	-	-

8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類	寸法 (mm)	色	形式
・黒板	※縦付け	※緑 ・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け
・ホワイトボード	-	-	・平面 ・スクリーン付き引分け

9 鏡 (20.2.9)

取付箇所 ()
寸法 (mm) 図示
厚さ (mm) ※5

10 表示 (20.2.10)

・衝突防止表示
形状、寸法 (・30φ)
材質 (・ステンレス製)

※室内用記号はJIS Z 8210による。
誤導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
色、書体、印刷等の標識、取付け形状等は図示による。
その他の表示 ※図示

11 煙突ライニング (20.2.11)

煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度 400℃ 650℃
キャスト耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする

12 ブラインド (20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	寸法、取付箇所
・縦型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	図示
・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	※アルミニウム合金製	図示
	・電動	-	-	-	-	-
	・電動	-	-	-	-	-

アルミスラット 機付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合

13 ロールスクリーン (20.2.13)

材種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考
・ポリエステル	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	-

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
※製造所の仕様による

14 カーテン (20.2.14)

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類	取付箇所	備考
・シングル	・片引き	・フランクひだ	-	・図示	-
・ダブル	・引分け	・ひも引き ・ブレンひだ、片ひだ	-	-	-
	・電動	-	-	-	(備考)

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については となる
織幕カーテンの両端、上部及び巾合せの重なり ※300mm以上

15 カーテンレール (20.2.14)

材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材
・ステンレス製

強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 図示
材質 構成材(仕上げ)
・アルミニウム製 押し出し型材(市販品)
種類(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種
色合い・標準色() ・特注色()
・鋼製(仕上げ)

16 ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14)

材種	寸法	形式	外枠	内枠
・アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・隠隠タイプ ・目地タイプ
・	-	・密閉形	-	-
	-	・密閉形	-	-

17 天井点検口 (20.2.14)

材種	寸法	形式	外枠	内枠
・アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・隠隠タイプ ・目地タイプ
・	-	・密閉形	-	-
	-	・密閉形	-	-

18 床点検口 (20.2.14)

材種	寸法	形式	備考
・アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・隠付き ・屋内用
・	-	・鋼製	・結露防止形

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直方向	・完全(全貫通型)	・耐火型	・有り	-
・水平方向	-	・非耐火型	・無し	-

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ)
	・	・シーリング材(内外とも)
目地寸法 (mm)	・幅20×深さ10	・幅20×深さ10

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による

19 耐震スリット (20.2.14)

材種	寸法	形式	備考
・アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形	・屋内外用 ・隠付き
・	-	・密閉形	・屋内用
	-	・鋼製	・結露防止形

20 止水板 (20.2.8)

形式 ・差込式 ・留置式 ・壁張り式
施工箇所 図示

21 エキスパンションジョイント金物 (20.2.9)

材種	クリアランス	耐火性能	備考
・アルミニウム製	・50 ・100	・有り()	-
・ステンレス製	・150	・無し	-

外部は防水型とする

22 くつきマット (20.2.10)

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS 304)	-
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金	-
・ステンレス鋼 (SUS 304) 製	-	-

23 流し台ユニット (20.2.12)

材種	寸法 (mm)			備考
	W	D	H	
・流し台	・1200	・550	・800	市販品
	・1500	・600	・850	トラップ付き
	・1800	・650	-	天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550	・620	市販品
	・600	・600	・670	バックガード有り
	・600	・650	-	天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200	・450	・500	市販品
	・900	-	・700	-
	・600	-	-	-
・水切り	・1200	-	-	市販品
	・900	-	-	ステンレス製
	・600	-	-	1段式

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※図示

24 旗竿 (20.2.12)

材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製	・チーバー型 ・同一断面型	-	・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	-

25 旗竿受金物 (20.2.12)

材質 ・ステンレス製 (SUS 304)

26 草止め支柱 (20.2.12)

形式	材種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)
・上下式嵌内型	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製	-
・	-	-	-

27 フェンス (20.2.12)

フェンスの種類 ・ビニル被覆メッキバンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ 図示

28 ブレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する割合強度
図示
配筋
※配筋を定めた計算書を製図職員に提出する。
図示
取付け方法
※図示

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2)(20.4.3)

材種	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-	-
・コンクリート間知ブロック	-	-	・A ・B	-

積み方 ※谷積み ・布積み
目盛り 図示
伸縮目地 材質 図示
厚さ 図示

30 鋼製書架及び物品棚 (20.4.2)

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚	-	・4種 ・5種 ・6種

31 屋内掲示板 (20.4.2)

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩化ビニルシート張り

32 洗面カウンター (20.4.2)

材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:構成材) ・人工大理石
奥行 (mm) ・約450 ・約600

33 防塵障れ壁 (20.4.2)

・固定式

材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考
※網入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
・網入り磨き板ガラス	-	-	-

・可動式

種類	材質	高さ (mm)	備考
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構 検知器連動及び手動開放装置(埋込み型)

34 収納家具 (12.2.2)(19.7.2)

材質形状・寸法 ※図示
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)

35 屋外掲示板 (12.2.2)(19.7.2)

照明器具 ※有り ・無し
施錠 ※有り ・無し

36 敷地境界石積 (12.2.2)(19.7.2)

種類 ※コンクリートブロック製(市販品)
・花こう石積(文字記号等入り)

工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建設工事
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書(その8)
年月日	
尺度	- 図面番号 A-08
会社名	
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所

21 排水工事

① 屋外雨水排水 (21.2.1) (表21.2.1)

排水管用材料

材種	管の種類	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示	
○硬質ポリ塩化ビニル管	○VP		○図示	
	・VU		・図示	
	・RS-VU		・図示	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV		・図示	
	・VU継手		・図示	

基礎の厚さ及び種類 図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤
側溝の形状及び寸法 図示
排水溝の種類 図示
砂地業に用いる材料 (6.4.2(2))
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (6.4.2(1))
・再生クラッシュラン 図示 ・切込砂利 ・切込砕石

現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm³
現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A

凍上抑制層の厚さ 図示
凍上抑制層に用いる材料
砂の粒度試験 行う 行わない

2 鋼鉄製ふた (21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋼鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による

③ グレーチング (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めつき (付着量)	上面形状
・鋼製	・受枠付き ・ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・ ()	・凹凸形
○ステンレス製	○受枠付き ○ボルト固定	○溝ふた (横断用) ○溝ふた (側溝用) ○樹ふた用 ○U字溝用	・歩行用	—	—	・凹凸形

4 街きよ、緑石、側溝 (21.3.1) (表21.3.1)

種類	形状、寸法
・緑石	・図示
・L形側溝	・図示
・U形側溝	・図示
・U形側溝ふた	・図示

地業の材料
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ ※100 (mm) 図示
・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm³
凍上抑制層の厚さ 図示
凍上抑制層に用いる材料
砂の粒度試験 行う 行わない

⑤ 埋戻し土 (21.2.1)

※B種 (標準仕様書表3.2.1)

22 舗装工事

① 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)

路床の材料

種別	材料	厚さ (mm)
○盛土	・A種 ○B種 ・C種 ・D種	・図示
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン 図示 ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・図示
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量6%以下)	・図示

路床安定処理 適用する 適用しない
添加材料
種類
・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 図示
・フライアッシュセメントB種
・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号)
添加量 kg (目標CBR 以上)

試験
砂の粒度試験 行う 行わない
路床土の支持力比 (CBR) 試験 行う 行わない
現場CBR試験 行う 行わない
路床締固め度の試験 (現場密度) 行う 行わない

2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5) (表22.3.1)

路盤の厚さ 図示
路盤材料、クラッシュラン 図示
・再生クラッシュラン 図示 ・再生粒度調整砕石 図示 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ 図示
・粒度調整鉄鋼スラグ 図示 ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 図示

試験
路盤締固め度の試験 ※行う 行わない

③ アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6) (表22.4.1) ~ (表22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示
材料
アスファルト ○再生アスファルト 図示 (・60~80・80~100) ・ストレートアスファルト
骨材
○道路用砕石
○アスファルトコンクリート再生骨材 図示

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)

区分	地域	種類
表層	○一般地域	○密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)

シールコートの施工
・行う (・PK-1 ・PK-2) 行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

4 コンクリート舗装 (22.5.2~4) (22.5.6) (表22.5.1~3)

コンクリート舗装の厚さ

舗装の種類	部位	厚さ (mm)
コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 図示
	車路及び駐車場	・150 図示

寒冷地の縁部立下り寸法等 図示
材料
コンクリート 標準仕様書表22.5.1による
早強セメント 使用する 使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ 高弾性タイプ
目地
種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による 図示
試験
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

5 カラー舗装 (22.6.2~4) (表22.6.1)

種類・工法	部位	基層	厚さ (mm)
・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場	・無し
	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	・無し
・常温系	・ニート工法		・アスファルト舗装 3~5
	・塗布工法		・コンクリート舗装 1程度以下

舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 (22.4.2(3)) による
材料
加熱系混合物に添加する材料 着色骨材 () 自然石 ()
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量
ニート工法及び塗布工法の配合等
試験
加熱系 標準仕様書 (22.4.6(3))
抽出試験 行う 行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

6 透水性 アスファルト舗装 (22.7.2) (22.7.3) (22.5.6)

材料	厚さ (mm)
ストレートアスファルト	・図示

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの

7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)

・コンクリート平板舗装

種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	表面加工
※普通平板 (N)	※300角	・60	※砂	・研ぎ出し
・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・洗い出し ・たたき出し

歩行者用通路に使用するコンクリート平板は (再生材料を用いた舗装用ブロック) とす
透水平板 (透水性コンクリート) とする。
クッション材 ※砂 ・空練モルタル
仕上げり面の平たん性 ※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内

・インターロッキングブロック舗装

種類	部位	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩、表面加工
※普通ブロック (N)	車路	※80	※5.0	・標準品
・透水性ブロック (P)	歩行者用通路	※60	※3.0	・

歩道部に使用するブロックは (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。
クッション材 ※砂 ・空練モルタル
目地材 ※砂 ・モルタル

・舗石舗装

種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層 (mm)
・小舗石 (花崗岩)	・	・80	・うろこ張り	・コンクリート舗装 (※70) ・アスファルト混合物 (※50)

クッション材 ※砂 ・空練モルタル
目地材 ※砂 ・モルタル

8 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)

種別
・A種 (施工範囲: 図示 通路)
・B種 (施工範囲: 図示 建物周囲等)

9 路面標示用塗料

JIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
・1種 図示	常温	液状	・白	・150	・1.0
・2種 図示	加熱			・100	・
・3種1号	溶融	粉体状			

図示 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 行う 行わない
電気伝導度 (EC) の試験 行う 行わない

2 植栽基盤の整備 (23.2.2.4) (表23.2.2)

植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種	樹高12m以上	・乗張り部分	・適用する
	・B種	(※100 ・120 ・150)	・植栽部分	・適用しない
	・C種	樹高7m以上~12m未満	・図示	
	・D種	(※80 ・100)		
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)		
		樹高3m未満 (※50 ・60)		

※芝、地被類 ※B種 ※20
・植栽部分 図示
・適用する 図示

植栽基盤の排水設備 設ける (図示)
設けない

3 植込み用土 (23.2.3)

・現場発生の土の良質土 密土

4 土壌改良材 (23.2.3)

・バーク堆肥 図示
施工箇所 ※植栽範囲 図示
使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・50L)

・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 図示
施工箇所 ※植栽範囲 図示
使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・10L)

材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする

5 樹木 (23.3.2)

樹種、寸法、株立数等 図示

6 支柱 (23.3.2) (23.3.3)

支柱材 ※丸太 (図示) ・真竹
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材
形式 図示

7 幹巻き用材料 (23.3.2)

材料 幹巻き用テープ さら とも

8 芝 (23.4.2)

種類
※コウライシバ ・ノシバ
芝張りの工法
平地 ※目地張り べた張り
法面 ・目地張り ※べた張り

9 吹付けは種 (23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率90%以上		

10 地被類 (23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

11 新植、移植樹木、芝等の枯保証 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7)

新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯保証の期間
※引渡しの日から1年 無し
移植樹木の枯保証を行う期間
※引渡しの日から1年 無し

12 屋上緑化 図示 (23.5.2) (23.5.3)

植栽基盤及び材料

・屋上緑化システム
土壌層の厚さ 図示
排水層 軽量骨材 (層の厚さ:) 板状成形品
植込み用土 ※改良土 人口軽量土
樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 図示

・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 図示

工法 (23.5.4)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
適用しない
支柱 設置する (形式 図示)
かん水装置 設置する (種類)

工事名	令和6年度 土地改良技術 近畿農政局土地改良技術事務所災害応急用ポンプ資材庫建築工事
図面名	新設資材庫 建築工事特記仕様書 (その9)
年月日	
尺度	- 図面番号 A-09
会社名	
事業(務)所名	近畿農政局 土地改良技術事務所